



テーマ ともにつながる

精神障害者の生活を考える集い

第27回 あした天気にな～れ

【日時】 2025年1月13日(月・祝)13時00分から15時50分

【会場】 名古屋国際会議場 141・142会議室
オンライン配信 同時開催

【主催】 一般社団法人 愛知県精神保健福祉士協会

【共催】 名古屋市

一般社団法人 愛知県精神科病院協会
愛知県精神科医会

特定非営利活動法人 愛知県精神障害者家族会連合会

特定非営利活動法人 名古屋市精神障害者家族会連合会

(順不同)

～誰もが安心して暮らせるまちづくり～

ご挨拶



第 27 回あした天気にな〜れの開催にあたって 一般社団法人 愛知県精神保健福祉士協会 会長 辻川 幸博

日頃より、皆様には当協会の活動に対し深いご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

当協会は、精神障害を抱える方々が安心して暮らせるまちづくりを実現するための支援を行っており、その一環として、さまざまな研修会を開催し専門性の向上に努めております。また、愛知県から昨年に引き続き、『愛知県ピアサポーター活動による精神障害者地域移行支援事業』と『愛知県精神障害者支援の障害特性と支援技法を学ぶ研修』、更に今年度からは改正精神保健福祉法に基づく『入院者訪問支援事業』

を受託し事業を実施し、その他にも関連団体との連携も通じて、当事者の社会的復権を目指した各種事業を実施しております。本日開催される『あした天気にな〜れ』も、その活動の一環として位置づけられています。当事者やそのご家族、行政機関、関連機関と共に、今年で 27 回目を迎えるこの事業を実施できることを非常に嬉しく思っております。

平成 7 年に発表された『障害者プラン～ノーマライゼーション 7 か年戦略～』は、国の障害者施策の一環であり、各自治体でも『障害者プラン』の策定が進められていました。その中で、大学教授と私たち有志で、当事者が自立した生活を送るために「どのような社会的支援が必要か？」を明らかにするために、1,000 人を超えるアンケート調査（当事者・ご家族を対象）を実施しました。そして各自治体の『障害者プラン』に活用していただくために、この調査結果を報告する場として、平成 10 年に第 1 回を刈谷市で『精神障害者の「障害者プラン」を考える』をテーマで開催しています。

その後、障害者総合支援法の成立に伴い、障害福祉サービスの提供は増加し、量的には充足してきています。しかしながら、サービスの質については疑問が残り、果たして本当に誰もが安心して暮らせるまちづくりが実現されているのか、考えていく必要があると思います。

今年度のテーマは『ともしつながる』です。

第 1 部では、『届け！わたしの声』として、当事者やご家族、精神保健福祉士などの支援者がそれぞれの声を発信する機会を設けています。

第 2 部のシンポジウムでは、同じく当事者やご家族、支援者が『ともしつながる』というテーマについて意見を交換します。家族や友人、職場や学校、支援者や支援機関、さらにはやる気や勇気、夢や希望など、つながるものは人それぞれあると思います。各シンポジストが“つながる”についてお話しし、皆さまと共に深めていくことを目指しています。

この事業を通じて、当事者やご家族、関係者の思いがつながり、誰もが安心して暮らせるまちづくりになることを願っています。

最後に、この事業の企画・運営に際し、多くの関係団体の皆様にご協力いただいていることに心より感謝申し上げます。

目次

(ページ)

- 1 . . . ご挨拶
- 2 . . . 目次
- 3 . . . プログラム
- 4~5 . . . 「届け！わたしの声」

登壇者紹介

- 6~8 . . . シンポジスト 紹介
- 9 . . . イラストギャラリー
- 10~14 . . . 《資料》

精神保健福祉医療をめぐる動向

- 15 . . . 後援団体 紹介

実行委員会構成団体 紹介



見逃し配信について



見逃し配信は
こちら



オンライン配信した動画を編集後、当協会ホームページ (<http://www.aichi-psw.com/>) にて配信します (字幕対応)。あした天気にな〜れ終了後、約3週間後から2月末まで掲載予定です。



Instagram も
はじめました
@ASITA_1996

プログラム

12：30 開場

13：00 開会式

13：30 「届け！わたしの声」

【当事者】

- ・ 坂口 亜希氏（愛知県ピアサポーター）
- ・ 金子 和美氏（愛知県ピアサポーター）

【家族】

- ・ 大橋 幸子氏（名古屋市精神障害者家族会連合会 副会長）

【支援者】 ※一般社団法人愛知県精神保健福祉士協会

- ・ 中谷 拓実氏（刈谷病院）

【司会】 ※一般社団法人愛知県精神保健福祉士協会副会長

- ・ 砂田 雄次氏（瑞穂区基幹相談支援センター）

13：50 シンポジウム ※途中休憩あり

【当事者】

- ・ 逢坂 純氏（統合失調症作家/愛知県ピアサポーター）
- ・ 伊神 克彦氏（医療法人系逢会ともこころのクリニック 友系の会/
愛知県ピアサポーター）
- ・ 篁 久美子氏（名古屋市教育センター/守山区ピアサポーター）

【家族】

- ・ 山田 法子氏（愛知県精神障害者家族会連合会 理事）

【行政】

- ・ 久野 雅広氏（名古屋市保健所中村保健センター 保健予防課）

【コーディネーター】 ※一般社団法人愛知県精神保健福祉士協会理事

- ・ 恒川 幸輝氏（桶狭間病院藤田こころケアセンター）
- ・ 市原 清香氏（南豊田病院）

15：45 閉会式

15：50 終了

届け！わたしの声

登壇者紹介

「少しでも多くの方に発信する機会を得てほしい」という思いから生まれた企画です。
当事者・家族・支援者それぞれが、「ともにつながるために」今伝えたい思いを届けます。

さかぐち あき
坂口 亜希 氏 愛知県ピアサポーター

《自己紹介》

坂口亜希です。愛知県のピアサポーターに登録されています。ピアサポート活動を始めて10年は経ちます。最近では同じ就労継続支援事業所に通所していた利用者仲間の悩みを聞いて一緒に社会福祉協議会まで付き添ったりと個人的プライベートでピア活動をしています。こういった大きなピア活動は初めてです。以後お見知りおきを宜しくお願いします。

《メッセージ》

こういったシンポジウムや講義や研修等を受けるだけで障害や悩みに対してたった数時間の講義で素人が障害者を相手にするとそういう人こそ鬱になるぞとか臨床心理士や公認心理士を舐めてるのか！といった意見を拝見しましたが、私たち当事者には心理士が教科書ペーパー上で見れない生の経験があります。実際の体験談がどれほど届くのかを突き詰めていけたらと思います。

おおはし さちこ
大橋 幸子 氏 名古屋市精神障害者家族会連合会 副会長／みなみ家族会 会長

《自己紹介》

名古屋市南区で生まれ、現在も南区に在住。主人、次女、13歳の雌の黒猫と暮らしています。家族会の会長になって7年がたとうとしています。

昨年3月には家族会30周年記念を開催でき、ほっとしています。40周年に向けてもう少し会長として、かんばってみようと思っています。まだまだ精神疾患について知らないことがたくさんあり、あした天気にな～れをきっかけに、娘と一緒に学んでいければと思います。

《メッセージ》

ともにつながる。娘は現在、訪問看護を利用しています。社会とつながりをもっていない娘にとっては家族以外の人とコミュニケーションが取れることに親としてとても感謝しています。小さなつながりでも時としてそれが大きなとても大切なつながりになることもあります。そんな小さな幸せを日々喜んでいきます。



なかだに たくみ

中谷 拓実 氏 刈谷病院／一般社団法人愛知県精神保健福祉士協会

《自己紹介》

1991 年生まれで、岐阜県高山市出身の名古屋育ちです。あいち福祉医療専門学校を 2023 年に卒業しました。卒業後は刈谷病院に就職をし、現在 2 年目になります。職場の先輩の指導のもと、患者さんとの関わりの中で、精神保健福祉士として学ぶ毎日です。最近のマイブームは料理と陶芸教室に通うことです。

《メッセージ》

患者さん、一人一人の気持ちに向き合い、寄り添えるケースワーカーでありたい。ケースワーカーになり、2 年目になりますが、入職前と入職後では自分自身の思い描いていた「つながる」にも変化がありました。わたしにとっての「ともにつながる」って何だろう？ということ考えたので、本日はみなさんの前で発表したいと思います。

かねこ かずみ

金子 和美 氏 愛知県ピアサポーター

《自己紹介》

19 歳の時に統合失調症感情障害で入院以来、6 回入院を経験。現在は一般企業において、障害枠ではたらきながら、ピアサポーターを始めています。

《メッセージ》

当事者の私も、服薬について、自分の心理状態とかで悩んできました。気に病んでしまうけど、とりあえず落ち着いてみよう、ポジティブに考えていこうとしました。私は歌が好きです。今日は「世界に一つだけの花」を取り上げました。他人よりすぐれなくてよい、自分の個性が大事だよということだと思えます。よろしければ 一緒に歌いましょう。

世界に一つだけの花

花屋の店先に並んだ
いろんな花を見ていた
人それぞれ好みはあるけど
どれも みんな きれいだね
この中で 誰が 1 番だなんて
争うこともしないで
バケツの中 誇らしげに
しゃんと 胸を張っている

それなのに 僕ら人間は
どうしてこうも比べたがる？
一人一人違うのに その中で
一番になりたがる？

そうさ僕らは
世界に一つだけの花
一人一人違う種を持つ
その花を 咲かせることだけに
一生懸命になればいい

小さい花や大きな花
一つとして 同じものはないから
No.1 に ならなくてもいい
もともと 特別な Only one

ラララ ラララ (くりかえし×3)

シンポジスト紹介

希望や願いをかなえるために。当たり前権利を守るために。

一人一人の声は小さくても、ともにつながる事で、その声は何倍にもなり実現の力となります。当事者・家族・行政・支援者が、ともにつながる大切さやあり方を語り合い、誰もが安心して暮らせる街づくりを考えます。

おうさか あつし
逢坂 純 氏 統合失調症作家/愛知県ピアサポーター

《自己紹介》

愛知県登録ピアサポーターの逢坂 純(おうさか あつし)と申します。

統合失調症を抱えた当事者として Amazon kindle で作家活動をしております。

統合失調症を抱えた当事者に、作家として作品を通して寄り添えるようになればいいなと思っております。本日はどうぞよろしくお願い致します。

《メッセージ》

統合失調症という精神障がいには、目に見えない大きな不安と恐怖とがいつまでも続く、先のことなど何も分からない病だと言う方が案外多いのでしょうか。

本日のシンポジウムで、僕は「聴く」ことを大切に、同じピアの方々のお話を聞いて自分の成長にもつなげていきたいと思っております。

いかみ かつひこ
伊神 克彦 氏 医療法人系逢会ともこころのクリニック 友系の会/愛知県ピアサポーター

《自己紹介》

Free-lance Therapist

丹羽郡扶桑町出身

高校卒業後、上京 日本少林寺武道専門学校、テキサスカイロプラクティック大学を経て、セラピストの道を進む。その後、児童発達支援事業所等、発達支援施設の新規開所、マネジメントに携わる。

活動拠点は、愛知県江南市、中央区銀座、さいたま市、福岡県北九州市など。

メンタルヘルスケアユーザー。WRAP ファシリテーター。

《メッセージ》

私の「人となり」を含め、4 年に及ぶリカバリー活動とその想いを、「ひと」と、「ともにつながる」を切り口にお届け致します。「ともにつながる」事が出来た「ひと」のおかげで、仲間(ピア)に救われ、支援者に救われ、そして、家族に救われました。その結果、閃いた事をお伝えさせて頂きたいです。そして、この機会に、皆さんと「ともにつながる」事を考えていきたいと思っております。



やの くみこ
篁 久美子 氏 名古屋市教育センター/守山区ピアサポーター

《自己紹介》

篁久美子です。今は一般就労の障害者枠として働いています。
仕事終わりにはナイトケアに行ったり、最近始めたヨガやピラティスのできるジムに行ったりリフレッシュしています。

《メッセージ》

いろいろな人とつながって相談できる場を増やしていくことの大切さを伝えたいです。生活や仕事に不安を感じたとき、迷ったり悩んだりしたときは一人で抱え込まず、信頼できる人に相談することが大切だと思います。今のように安定するまでに、1つずつステップアップしてきて、いろいろな方々が私の周りを囲んでくれました。そしてそれは今も同じようにあります。私の話を聞いたことで、誰かが次へ進んでいける少しのキッカケになれば嬉しいです。

やまだ のりこ
山田 法子 氏 愛知県精神障害者家族会連合会 理事

豊田地域精神障害者家族会 あげぼの会 副会長

《自己紹介》

総合病院で勤務し多忙な日々を過ごしていた母親が50代の頃に、娘は20代で介護福祉士として老健施設でやりがいを持って働いていましたが、交代勤務で体調を崩してしまい、入院を数回体験し、母親も心身共に疲弊して早期退職を余儀なくされました。娘が精神疾患と診断された後、母親は病気の知識と本人理解に努力しましたが未だ脳科学のメカニズムを理解することは困難です。娘が脳機能の脆弱性を持ちながら、現在社会の中で人として生活を営む上で何が大切か、家族会活動を通して会員と模索中です。

《メッセージ》

テーマ「ともにつながる」から親としての想いです。

医療・家族会・社会参加へとの様につながりを深めて行くかが問われています。

1. 長期にわたり精神医療を継続する為に薬物療法が主体ですが効果的な受診方法の手段は無いのでしょうか？ 本人の将来の目的に近づける為に、医師と治療内容を共有し、納得して色々な治療法を経験できれば健康を取り戻せると思います
2. 家族会組織は何故必要なのでしょう？ “親が変われば、子供も変わる”それぞれのリカバリーストーリーを公的な場所で発言出来て元気になった会員を紹介します
3. 福祉政策を理解し社会資源の活用を支援者の力を借りて、地域の中で生活出来れば親は安心です、福祉事業も私達が利用することでより良い発展につながると思います





くの まさひろ
久野 雅広 氏 名古屋市保健所中村保健センター 保健予防課

《自己紹介》

はじめまして、久野雅広と申します。名古屋市在住で、精神保健福祉相談員として 12 年間、地域の支援に従事しています。日々の仕事を通じて得た経験を活かし、より良い支援を目指しています。自己啓発として、マインドフルネスに取り組み、毎日の瞑想を日課にしています。また、生成 AI 技術にも興味を持ち、その可能性を探っています。よろしくお願いいたします。

《メッセージ》

「むらごとプロジェクト」や「重層的支援体制整備事業」などの新しい取り組みを通じて、中村保健センターは精神障害者を含む全ての人の意思を尊重し、一人ひとりの力を引き出す支援と、問題解決への一環として地域全体の体制づくりを推進しています。これからも皆さまと共に、共に解決策を見つけていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

コーディネーター

つねかわ こうき
恒川 幸輝 氏 桶狭間病院藤田こころケアセンター

一般社団法人愛知県精神保健福祉士協会 理事

《自己紹介》

愛知県豊田市出身。2020 年に日本福祉大学を卒業し、桶狭間病院藤田こころケアセンターに就職しました。現在はデイケアに所属しており、日々メンバーさんとともに色々な活動に取り組んでいます。日々の実践以外にも自分のできる事はないかを考え、昨年度大学院に入学しました。現在 2 年生。卒業まであと 2 か月、、、頑張ります。

《メッセージ》

今回のテーマは「ともにつながる」です。シンポジウムでは、当事者・ご家族・支援者、それぞれの立場の方がこの「ともにつながる」についてご自身の想いを話します。同じ精神保健福祉にかかわるものとして、その想いにはおそらく変わらない部分がたくさんあると思います。そうした想いを認め合えるようなシンポジウムにしたいと思っています。よろしくお願いいたします。

いちハラ さやか
市原 清香氏 南豊田病院

一般社団法人愛知県精神保健福祉士協会 理事

《自己紹介》

H15 年南豊田病院に就職。同法人の地域生活支援センターエポレにて相談業務や当事者活動支援に従事。結婚・出産を経て、南豊田病院に異動後は、急性期・慢性期治療病棟、デイケア、訪問看護など経験。アルコール関連問題にも取り組む。昨年のあした天気にな～れの直後に、茶トラのメス猫をお迎えし7人家族になりました。

《メッセージ》

昨年に引き続き、コーディネーターを務めます。昨年のテーマは「ともにいきる」。その中でも、何度もでてきていた「つながり」に着目しました。「つながり」はあるのに、なんだかうまくいかないなあ、、、なんてことはありませんか。目指している方向や思いはみんな同じはずなのに。「ともに」つながる、その大切さ、そして“ともに”つながるには何が大切か、一緒に考えましょう。

イラストギャラリー

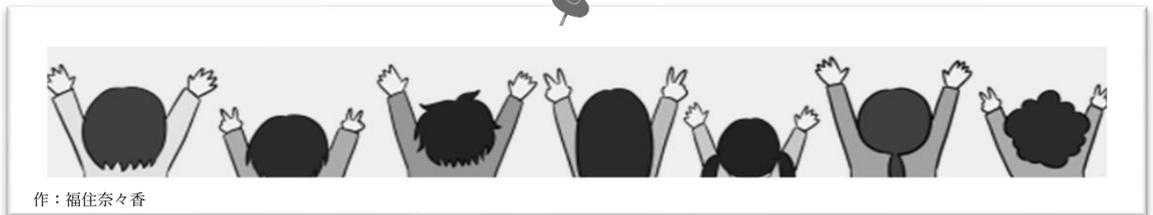


作：KADU.

毎年、あした天気にな～れの広報チラシは、県内の福祉事業所でデザインしていただいています。

第27回は、大府市にある社会福祉法人「憩の郷」の利用者さんがテーマに合わせ、イラストを描いて下さり、チラシ構成も考えてくださいました。

こころが温まる、元気がでるイラストです。ぜひ、ご覧ください。



作：福住奈々香



作：福住奈々香



作：福住奈々香

憩社会福祉法人**の郷** のみなさん
ご協力ありがとうございました

精神保健福祉医療をめぐる動向

年度	精神保健福祉関係法律の動き	精神保健福祉医療をめぐる国内・海外の動向
昭和 23 年		「世界人権宣言」(採択)
昭和 33 年		「精神科特例」(厚生省事務次官通知)
昭和 25 年	○精神衛生法成立 ・都道府県に精神病院設置義務、措置入院・保護義務者の同意による入院、「私宅監置」の廃止	
昭和 34 年		「児童の権利に関する宣言」(採択)
昭和 39 年		「ライシャワー事件」(3月)
昭和 40 年	○精神衛生法改正 ・警察官通報制度の強化、緊急措置入院制度、通院公費負担医療の創設	「全国精神障害者家族会連合会」設立
昭和 41 年		「国際人権規約」(採択)
昭和 43 年		「クラーク勧告」
昭和 44 年		「Y 問題」事件発生(10月)
昭和 45 年		「心身障害者対策基本法」公布
昭和 46 年		「知的障害者の権利宣言」採択
昭和 47 年		医療費緊急是正 精神科カウンセリング料新設
昭和 49 年		精神科作業療法、精神科デイケア点数化 岩倉病院問題
昭和 50 年		「障害者の権利宣言」採択
昭和 53 年		「アルマ・アタ宣言」(WHO、ユニセフ) ロボットミー訴訟
昭和 54 年		精神衛生社会生活適応施設整備費
昭和 55 年		「国際障害分類 (ICIDH)」発表
昭和 56 年		「国際障害者年」(完全参加と平等) 「保安処分」刑事局案発表
昭和 57 年		イギリス障害者リハビリテーション協会が「社会モデル」提唱 通院患者リハビリテーション事業実施
昭和 58 年		「国連・障害者の 10 年」開始年
昭和 59 年		「宇都宮病院事件」(3月)
昭和 62 年	○精神保健法に改正 ・入院患者の人権擁護の整備、社会復帰施設の創設 ・法の目的、義務に社会復帰推進を明記	「社会福祉士及び介護福祉士法」成立 「障害者雇用促進法」成立

平成 1 年		「児童の権利に関する条約」(採択) 「預かり金横領事件」関西地区 A 病院
平成 2 年		「ADA (障害を持つアメリカ市民法)」公布 「国際疾病分類第 10 版 (ICD-10)」
平成 3 年		「精神疾患を有する者の保護及びメンタルヘルスケアの改善のための諸原則」
平成 4 年		「小遣い、年金等預り金、作業所運営資金横領事件」
平成 5 年	○精神保健法改正 ・精神障害者の定義規定が「精神分裂病、中毒性精神病、精神薄弱、精神病質その他の精神疾患を有する者」 ・精神障害者地域生活援助事業(グループホーム)法定化 ・「保護義務者」から「保護者」へ名称変更	「アジア・太平洋障害者の十年」 「障害者基本法」施行 「全国精神障害者団体連合会」結成
平成 6 年		「地域保健法」成立
平成 7 年	○精神保健及び精神障害者福祉に関する法律に改正 ・法の目的に自立と社会参加の促進を明記 ・社会適応訓練の事業の法制化 ・精神障害者保健福祉手帳の創設	「障害者プランノーマライゼーション 7 カ年戦略」
平成 8 年		「精神保健ケアに関する法-基本 10 原則」
平成 9 年		「介護保険法」成立 「精神保健福祉士法」成立 大和川病院事件
平成 10 年		第 1 回精神障害者の社会復帰・福祉を考える集い(刈谷市)
平成 11 年	○精神保健及び精神障害者福祉に関する法律改正 ・市町村の役割を明記、精神保健指定医の職務適正化 ・精神医療審査会の機能強化、保護者の自傷他害防止監督義務規定の削除、精神障害者地域生活支援センターの法制化 ・精神障害者居宅生活支援事業の法制化	地域福祉権利擁護事業開始 第 2 回精神障害者の社会復帰・福祉を考える集い(半田市)
平成 12 年		「社会福祉法」成立 「介護保険法」「児童虐待防止法」施行 第 3 回精神障害者の社会復帰・福祉を考える集い(名古屋市)
平成 13 年		「国際生活機能分類 (ICF)」発表

		<p>「池田小学校児童殺傷事件」</p> <p>「DV防止法」施行</p> <p>第4回精神障害者の社会復帰・福祉を考える集い（豊橋市）</p>
平成14年		<p>「新障害者プラン」策定</p> <p>第5回精神障害者の社会復帰・福祉を考える集い（岡崎市）</p>
平成15年		<p>「医療観察法」成立</p> <p>精神障害者退院促進支援モデル事業開始</p> <p>第6回精神障害者の社会復帰・福祉を考える集い（一宮市）</p>
平成16年		<p>厚生省「こころのバリアフリー宣言」</p> <p>「性同一性障害特例法」施行</p> <p>「精神医療保健福祉の改革ビジョン」</p> <p>「今後の障害福祉福祉施作について」（改革のグランドデザイン案）</p> <p>第7回精神障害者の社会復帰・福祉を考える集い（刈谷市）</p>
平成17年	<p>○精神保健及び精神障害者福祉に関する法律改正</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「精神分裂病」から「統合失調症」へ ・居宅生活支援事業、社会復帰施設や通院医療が自立支援法へ、市町村における相談支援体制の強化 ・精神科病院等に対する指導監督体制の見直し ・精神科救急体制の確立 	<p>「発達障害者支援法」施行「犯罪被害者等基本法」施行</p> <p>第8回精神障害者の社会復帰・福祉を考える集い（名古屋市）</p>
平成18年		<p>「障害者権利条約」（採択）</p> <p>「障害者自立支援法」施行</p> <p>「高齢者虐待防止法」施行</p> <p>「自殺対策基本法」施行</p> <p>精神障害者退院促進支援事業</p> <p>第9回精神障害者の社会復帰・福祉を考える集い（蒲郡市）</p>
平成19年		<p>「社会福祉士及び介護福祉士法」改正</p> <p>日常生活自立支援事業開始</p> <p>第10回精神障害者の社会復帰・福祉を考える集い（名古屋市）</p>
平成20年		<p>「今後の精神保健医療福祉のあり方等に関する検討会」中間まとめ</p>

		<p>文部省スクールソーシャルワーカー活用事業開始</p> <p>精神障害者地域移行支援特別対策事業開始</p> <p>第 11 回精神障害者の社会復帰・福祉を考える集い（岡崎市）</p>
平成 21 年		<p>「精神保健医療福祉の更なる改革に向けて」障がい者制度改革推進本部設置</p> <p>「海の日」をソーシャルワーカーデーと定める</p> <p>第 12 回精神障害者の社会復帰・福祉を考える集い（大府市）</p>
平成 22 年		<p>第 13 回精神障害者の社会復帰・福祉を考える集い（尾西市）</p>
平成 23 年		<p>「東日本大震災」発生</p> <p>「障害者基本法」改正</p> <p>精神障害者アウトリーチ推進事業開始</p> <p>第 14 回精神障害者の社会復帰・福祉を考える集い（名古屋市）</p>
平成 24 年		<p>「障害者虐待防止法」施行</p> <p>第 15 回精神障害者の社会復帰・福祉を考える集い（豊橋市）</p>
平成 25 年	<p>○精神保健及び精神障害者福祉に関する法律改正</p> <p>・精神障害者の医療の提供を確保するための指針の策定、精神医療審査会に関する見直し</p> <p>・保護者制度の廃止、医療保護入院の見直し</p>	<p>「障害者総合支援法」施行</p> <p>「障害者優先調達法」施行</p> <p>「公職選挙法」改正</p> <p>「障害者雇用促進法」改正</p> <p>「いじめ防止対策推進法」施行</p>
平成 26 年		<p>「障害者権利条約」批准</p> <p>「アルコール健康障害対策基本法」施行</p> <p>「過労死等防止対策推進法」成立</p> <p>第 16 回あした天気になーれ(熱田区役所講堂)</p> <p>第 17 回あした天気になーれ(熱田区役所講堂)</p>
平成 27 年		
平成 28 年		<p>「障害者差別解消法」施行</p> <p>第 18 回あした天気になーれ(熱田区役所講堂)</p>
平成 29 年		<p>「これからの精神保健医療福祉のあり方に関する報告書」</p> <p>第 19 回あした天気になーれ(刈谷市産業振興センター)</p>
平成 30 年		<p>「ギャンブル等依存症対策基本法」施行</p> <p>第 7 次医療計画開始(～令和 5 年度)</p>

		第 20 回あした天気になーれ(名古屋国際会議場)
平成 31 年 令和 1 年		第 21 回あした天気になーれ(名古屋国際会議場) 第 22 回あした天気になーれ(PSW 全国大会・名古屋国際会議場)
令和 2 年		新型コロナウイルス感染症の流行
令和 3 年		「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に係る検討会」報告書 第 6 期障害福祉計画(～令和 5 年度) 第 23 回あした天気になーれ(ライブ配信)
令和 4 年	○精神保健及び精神障害者福祉に関する法律改正 ・短時間労働者に対する実雇用率算定の見直し ・医療保護入院の見直し ・入院者訪問支援事業の創設 ・精神科病院における虐待防止に向けた取り組みの一層の推進 等 ○障害者総合支援法改正 ・グループホームの支援内容に地域生活に向けた支援・退去後の相談等明確化 ・基幹相談支援センター及び地域生活支援拠点等の整備を努力義務化 ・就労アセスメント手法を活用した就労選択支援の創設 等	高等学校学習指導要領における保健体育科にて「精神疾患の予防と回復」について指導開始 「地域で安心して暮らせる精神保健医療福祉体制の実現に向けた検討会」報告書 第 24 回あした天気になーれ(ライブ配信)
令和 5 年		第 25 回あした天気になーれ(会場(名古屋国際会議場)とオンライン同時開催) 新型コロナウイルス感染症の 5 類感染症移行
令和 6 年		第 26 回あした天気になーれ(会場(名古屋国際会議場)とオンライン同時開催) 「精神科病院虐待通報窓口」設置・通報義務化 「入院者訪問支援事業」開始
令和 7 年		第 27 回あした天気になーれ(会場(名古屋国際会議場)とオンライン同時開催)

*この年表は、「公益社団法人日本精神保健福祉士協会 50 年史」から転載したものに加筆しています。



後援団体 紹介

愛知県 / 社会福祉法人 愛知県社会福祉協議会 /
社会福祉法人 名古屋市社会福祉協議会 / 愛知精神神経科診療所協会 /
名古屋保護観察所 / 愛知県精神障がい者福祉協会 / 愛知県精神保健福祉協会 /
一般社団法人 愛知県社会福祉士会 / 一般社団法人 日本精神科看護協会愛知県支部 /
一般社団法人 愛知県作業療法士会 / 一般社団法人 愛知県医療ソーシャルワーカー協会 /
愛知県弁護士会 / 愛知県司法書士会 / 一般社団法人 愛知県臨床心理士会 /
愛知県公認心理師協会 / 特定非営利活動法人 愛知県相談支援専門員協会 /
中日新聞社 / 中日新聞社会事業団

(順不同)

実行委員会構成団体 紹介

● 実行委員

名古屋市精神保健福祉センター / 一般社団法人 愛知県精神科病院協会 /
愛知県精神科医会 / 特定非営利活動法人 愛知県精神障害者家族会連合会 /
特定非営利活動法人 名古屋市精神障害者家族会連合会 /
一般社団法人 愛知県精神保健福祉士協会 (生活支援センターさざなみ /
京ヶ峰岡田病院 / 瑞穂区障害者基幹相談支援センター / 南豊田病院 /
桶狭間病院藤田こころケアセンター / もりやま総合心療病院 /
守山区障害者基幹相談支援センター)

(順不同)

● オブザーバー

愛知県 / 愛知県精神保健福祉センター

一般社団法人 愛知県精神保健福祉士協会 事務局

〒460-0022

名古屋市中区金山一丁目2番地24号ロンシャン金山502号

《E-mail》info@aichi-psw.com

《TEL》052-684-6148 《FAX》052-684-6145